

ケータイとパチンコ、一見何の関連もないモノのようにみえますが、実は、比べると非常に面白いことがわかってきます。ケータイは現代人にとってはなくてはならないもの。パチンコも日本人にとっては、そうらしい（20兆円を超える市場規模だとか）。

以前、パチンコ台回収施設を見学してそのリサイクルの徹底ぶりに感心したことがあります。ところが、ケータイを含む小型家電のリサイクルはあまり進んでいません。これらのリサイクルが進んでいないのは何故でしょう。廃製品としてみたときの、類似点と相違点を挙げながら考えてみたいと思います。

- ・重量では、ケータイは軽い（100g）、パチンコ台は重い（10kg）。
- ・リサイクル率では、ケータイは25%に対して、パチンコ台は90%超。
- ・寿命では、ケータイ4～5年、パチンコ台1年。どちらも短寿命です。
- ・どちらも資源性金属と有害性金属を含んでいます。ケータイは資源性金属（特に貴金属類）が多く含まれることから注目されているのに対し、パチンコ台は資源性金属も含まれますが、基板のハンダや電線被覆中の鉛を多く含むことから、海外に輸出される際には、有害性のチェックが必要となっています（パチンコ台は中古品輸出がかなりある）。
- ・どちらも個別リサイクル法はなく、資

源有効利用促進法のもとでリサイクルが進められています（法律で規制せねばリサイクルの進まないものが対象となっており、既に市場でリサイクルが進んでいたり、企業の自主回収が進められているものについては個別リサイクル法は制定されません）。

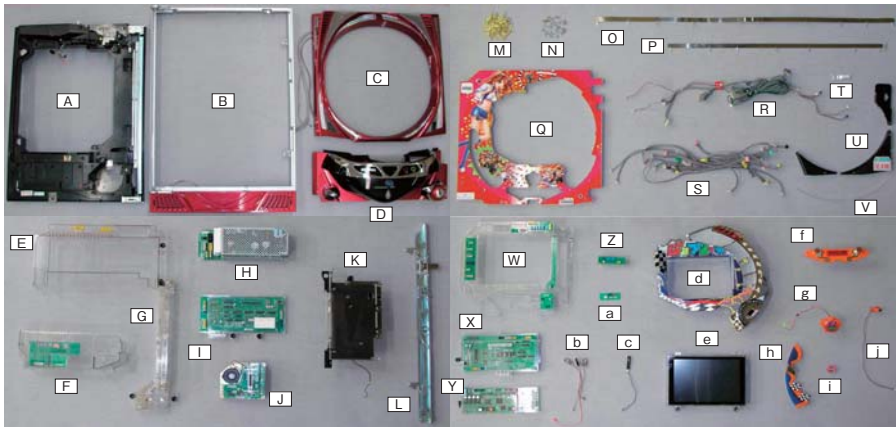
- ・パチンコ台は手作業による解体が行われ、図に示すように25種類の部品、さらに材質や大きさにより200種類に分別されることもあります。木枠は何度も利用されます。木枠の部品利用によって、盤のみ新たなものとして製造する台数も増えています。2000年頃はセメント工場へ燃料として利用されていましたが、最近ではマテリアル利用が70%程度とリサイクルの質も向上しています。
- ・ケータイは軽く、部品も小さいので、手作業ですべての部品を分別することは難しい。リサイクル方法は別稿で述べられていますが（pp.68～71）、回収されたものは、そのまま粉砕して非鉄金属精錬において金属として回収されます。
- ・パチンコ台のリサイクルは、廃棄物を少なくし（処理費用減少）、新製品の価格コストを下げるができる、といった理由から進んだようです。
- ・ケータイは軽薄短小の製品開発企画の流れに沿っています。廃製品の回収率は低いのですが、稀少金属を多

く使用するこれら小型家電は、製品が小さくなれば回収コストの責任はだれがもつのか、という課題が持ち上がります。ケータイ1個の資源的価値は概ね100円程度と推定されているので、回収費用がそれ以上であれば経済的な負担が必要です。

以上から、パチンコ台のリサイクル率が良いのは、処理費用を削減し、新製品の価格コストを下げるために、材質や部

品の解体が簡単にできるように作られていることがわかります。一方、ケータイにみられる小型家電では、製品を作る側には、すべての部品・素材がリサイクルされないような製品開発を望まれます。消費者としては、特にケータイでみられるように、短小軽薄を追及した製品は部品・素材・金属資源が回収しにくくなるということも理解することが大事なのではないでしょうか。

パチンコ部品



- | | | |
|---------------|--------------|-----------------|
| A. プラ枠ユニット | M. 釘 | Y. 複合サブ制御基板ユニット |
| B. 外枠ユニット | N. ネジ | Z. 枠用外部端子板 |
| C. ガラス枠ユニット | O. 外バンド | a. 払出中継端子板 |
| D. 一体皿ユニット | P. 内バンド | b. 近接スイッチ |
| E. 裏カバーユニット | Q. 遊技盤 | c. 磁気検出センサ |
| F. 回路アダプター | R. 本体用ハーネス | d. センタ |
| G. 流路ユニット | S. 遊技盤用ハーネス | e. 液晶ユニット |
| H. 電源ユニット | T. ファール球防止 | f. アタッカ |
| I. 払出制御基板ユニット | U. リテーナー | g. 電動チューリップ |
| J. 発射制御基板ユニット | V. P線防止 | h. サイドランプ |
| K. アウト通路ユニット | W. セット板 | i. 風車 |
| L. 統一錠ユニット | X. 主制御基板ユニット | j. 通過チャッカ |